

平成 29 年度 指定管理者年度総合評価表  
(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月実施分)

作成日	平成 30 年 6 月 8 日
-----	-----------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市旭ヶ丘会館		
所在地	八戸市旭ヶ丘一丁目 1 番地 19		
施設概要	設置目的：地域住民の連帯と自治意識の向上を目的に、地域活動の拠点として設置 建物概要：鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積 466.90 m <sup>2</sup> 大ホール・和室等		
指定管理者	名称	旭ヶ丘町内連合会	
	代表者	会長 山口 信義	
	所在地	八戸市旭ヶ丘一丁目 8-24	
指定期間	平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日		
指定管理者の業務	(1)会館の利用に関する業務 (2)会館の施設、設備等の維持管理に関する業務 (3)その他、市長が必要と認める業務		
市所管課 (問合せ先)	福祉部 福祉政策課 指導監査グループ		
	電話	0178-43-9294 (直通)	
	E-mail	fukushiseisaku@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・随時の清掃と定期的な専門業者の清掃による施設環境の美化や、町内連合会役員が交代で施設を巡視することにより施設の安全管理に努めた。</li><li>・備品整理棚の導入や、施設周辺の除草及び除雪など、利用しやすい環境の整備に努めた。</li><li>・施設利用者を対象とする防災訓練や A E D 講習会を実施したほか、指定避難所として災害時における防災体制の整備を行った。</li></ul>
今後の目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・快適な施設環境の確保のため、利用者とコミュニケーションをとりながら、今後も環境美化や安全管理を徹底する。</li><li>・地域の自主防災組織と連携し、今後も指定避難所として防災体制の維持及び強化を図る。</li><li>・市や地域住民と協議しながら、施設及び設備を充実させる。</li></ul>

■市（所管課）の総合評価

評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設の設置目的を踏まえ、関係法令等を遵守し、適正な施設の管理・運営が行われている。</li><li>・利用件数及び利用者数とも前年度を上回っており、地域活動の拠点として活用されている。</li><li>・業者による大規模清掃や、町内連合会役員による巡視など、施設の環境保全及び安全管理に努めている。</li></ul>
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

## ■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	施設の前予約や鍵の貸出及び返却がいつでも可能な体制となっており、市民サービスの向上に努めていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	管理運営に必要な人員を配置していた。
従事者の労働環境確保	—	地域住民による管理のため対象外
従事者の教育・研修	—	地域住民による管理のため対象外
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態に対する対応（準備）が十分出来ていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	年度事業計画書、年度収支計画書、四半期業務報告書、年度事業報告書等が適切に提出されていた。
口座管理、経理の区分	—	指定管理料がないため対象外
通帳、印鑑の管理	—	指定管理料がないため対象外
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし
指定管理開始前における準備	—	21年度から25年度まで及び26年度から30年度まで継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	21年度から25年度まで及び26年度から30年度まで継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が適切に行われていた。 (使用制限、使用条件の変更、入場拒否の事例はなし。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	◎	定期的に利用する団体による同一日の複数回利用などにより、利用件数及び利用者数が前年度を上回った。 27年度 1,070件 20,448人 28年度 1,147件 23,458人 29年度 1,245件 24,942人（対前年度比 106%）
その他の取組 （運営に関する工夫）	○	自家用車で来館する利用者も増加していることから、隣接する食料品店や銀行の休業日に駐車場を借りるなど、利用者サービスの向上に努めた。

3 収支状況		
指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	—	施設の維持管理に要する経費は、指定管理者で徴する実費徴収金等で賄われていた。

4 運営に係る体制整備状況等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	苦情・要望等を随時聞き取り、運営管理に反映させるよう努めていた。
施設概要（利用方法）の周知	○	施設内の貼紙により、施設の利用方法等を周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	受付窓口を確保し、意見箱を設置するなど、受付体制が整備されていた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等が無かった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。（運用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	節電や節水について、声かけや貼紙等で積極的に利用者にも周知するなど、環境への配慮が適切に行われていた。

## ■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング				
自主点検状況	実施状況			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設や設備、備品等について随時点検を実施し、修繕や消耗品等の補充、交換を行った。</li> <li>・備品保管場所に整理棚を導入するなど、備品の適切な維持管理に努めた。</li> </ul>			
2 定期モニタリング				
定期報告状況	実施状況			
	四半期業務報告書や年間事業報告書等が提出され、内容も適切であった。			
3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	10回	4月13日	課長、担当	施設の管理運営状況確認
		5月25日	GL、担当	管理運営状況実地調査
		10月4日	GL、担当	物品納入検査（防災資機材）
		12月7日	担当	管理運営状況実地調査
		12月11日	担当	管理運営状況実地調査
		12月18日	GL、担当	修繕箇所検査（灯油配管）
		12月25日	担当	施設の管理運営状況確認
		1月25日	GL、担当	修繕箇所検査（換気扇蓋）
		2月21日	担当	施設の管理運営状況確認
		3月22日	GL、担当	修繕箇所検査（サッシ鍵）
実施結果				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設や設備、備品等の管理が適正に行われていることを確認した。</li> <li>・修繕を実施した箇所の状況を検査し、適切な状態であることを確認した。</li> </ul>				

※GL：グループリーダー